

計画事業番号	00835	事務事業名	広聴活動事業	担当部署	市民環境部市民課	電話	2303
--------	-------	-------	--------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	「きたひろしま市民の声」取扱規程			
事務事業開始年度	-		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章)	快適な生活環境のまち
	(第 9 節)	情報公開・広報広聴の充実
	(施策 4 )	広報広聴活動の充実
2 対象	市民、各自治会(町内会)、各種団体・サークル、各連合自治会等	
3 目的と内容	市民と行政が信頼と協働によるまちづくりを進めるためには、益々多様化・複雑化する市民ニーズの的確な把握が重要であるため、情報の公開や意見集約、市民との直接対話など各種広聴活動を継続実施する。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	「市民の声」、「各種団体等の要望」～意見、要望等の受付・回答及び概要の作成 「市政懇談会」～年1回、開催希望連合町内会の会館等で実施。(参加者は各連合町内会に一任) 「市民見学会」～市内の公共施設や工場等を見学。(広報で参加者募集) 「出前トーク」～市長が地域に直接出向き、市民と意見交換を実施 「出前講座」～職員が地域に向いて市の施策や制度などさまざまなことについて説明。 また、市に寄せられた多くの問い合わせや質問とそれに対する市の回答を「よくある質問Q&A」としてホームページに掲載し、市民に情報を公表
	29年度	昨年同様、複雑化・多様化する市民ニーズに的確に伝えていくため、まちづくりに対する意見や要望を随時受け付けるとともに、市政懇談会や出前トーク・出前講座等を実施し、市政に対する相互理解を図る。 ・市民、各種団体等からの意見・要望等の随時受付・回答 ・市長による「出前トーク」、職員による「出前講座」の実施 ・よくある質問Q&Aの公表 ・市民見学会の実施(8月) ・市政懇談会の実施(10月下旬～11月下旬)

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし	・市民の声受付 346件 ・出前講座、出前トーク 90回実施 2,565人参加 ・よくある質問Q&Aの公表 ・市民見学会 9人参加 ・市政懇談会 9連合町内会 195人参加	市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし	市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし	市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし	市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし	市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし	市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	市民と協働のまちづくりを進めていくためには、市民との直接対話や各種公聴事業を通して、多様化する市民ニーズを的確に把握することが重要であるため、今後も有効的な公聴活動を継続して取り組んでいく。 なお、広く市民の声を聴く必要性から市政懇談会開催方法等の検討が課題である。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

**【事業費の推移】**

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			19		26		29		29	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	19		26		29		29	
	① 合計	19		26		29		29		
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	8,400	0	8,400	0	8,400	0	8,400	0	
総事業費①+④			8,419		8,426		8,429		8,429	

**【評価指標】**

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①市民の声受付件数	件	346			
	②出前講座、出前トーク開催数/参加人数	回/人	100/3000	100/3000	100/3000	100/3000
	③市政懇談会開催数/参加人数	回/人	11/275	11/275	11/275	11/275
	④市民見学会参加人数	人	40	40	40	40
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	③	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

**【評価項目】**

チェック項目	評点	コメント
<b>妥当性</b> ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市民と行政が協働でまちづくりを進めるためには、市民や各種団体等からの市政に関する意見を広く聴くことが重要であり、相互理解を深めるうえで広聴活動は有効的である。
<b>達成度</b> ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	市民等の様々な意見や要望を把握し、確実に市民等に対し回答している。また、意見や要望に対しては、各課において、その必要性・実現性を検討し施策等に反映している。
<b>成果向上</b> ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	市民や各種団体等からの市政に関する意見を広く聴くため、市政懇談会をはじめ、文書、電話、メール、窓口など様々な受付手段を用いている。 なお、広く市民の声を聴く必要性から市政懇談会開催方法等の検討が課題である。
<b>経済性</b> ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	最低限の経費であり、削減の余地はない。

<b>【法律で実施が義務付けられている事務事業か】</b>	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
-------------------------------	------------------------------------	---

<b>【民間活力の活用性評価】</b> (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
------------------------------------	---	---